滋賀文教短期大学　卒業生に関する就業状況調査 （2019年度卒業生 就業先対象）

令和3（2021）年3月
滋賀文教短期大学

目的:　・職業安定法に基づいて「就職後6ヶ月以内の離職状況」を調査するため
・今後の本学の進路支援・教育内容の質の向上のため

対象:　令和元（2019）年度　本学卒業生の就業先事業所

方法:　卒業生の就業先へ配属先の事業所ごとに郵送し、返信用封筒にて回収

時期:　令和2年（2020）年　9月

件数:

	発送	返送	返送率
国文学科	15	9	60.0%
子ども学科	36	31	86.1%
計	51	40	78.4%

（返送数は調査年9月25日現在）

質問:　〇回答者の方の情報（事業所名、所属、役職、氏名）
〇対象の卒業生の在職状況（退職の場合は退職日）

A.本学卒業生について、特に改善が求められる点を3つまで選び、丸をつけてください。
1.論理的思考力 （具体的根拠を基に考えたり議論したりする力）
2.事務処理能力 （文章作成能力、パソコン技能、電卓計算能力）
3.基礎学力 （短期大学卒業程度の学力、一般常識）
4.専門知識・技能 （専門分野についての豊富な知識）
5.対人能力 （議論の意図を理解する力、意見の異なる人とも協力する力）
6.課題解決力 （自ら課題を発見し、取り組み、解決する力）
7.主体性・自立性 （すぐに他人を頼らず、自分でやり遂げる力）
8.成長意欲 （入職後も自己研鑽しようと地道に努力を継続する力）
9.リーダーシップ （他人を巻き込んで、物事に取り組む力）
10.その他 （自由記述）

B.本学卒業生の評価について、それぞれ一つを選び、丸をつけてください。
（1）仕事に対して、主体的に働きかけ、実行する力
（2）課題を発見し、自分なりに考えた上で、新しいことを考える力
（3）他人の話を傾聴した上で自分の意見を伝える力
（4）職場で適切な議論をする力
（5）時間や期限を守ったり敬語を使ったりするなどの社会のマナー
（6）文章作成能力、パソコン技能等の事務処理能力
（7）短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力
（8）社内や部署内全体の状況を把握した上で働く力
（9）就職後も自ら学び続ける力
（10）ピアノ演奏や弾き歌いの音楽の技能
（11）子どもや保護者との関わり等においての対応力
（12）子どもの安全や健康について、全体の様子を把握して配慮する力
（13）教育者・保育者としての使命感・倫理観
評価:　1.秀　2.優　3.良　4.可　5.不可
※評価目安：満点を100点としたとき、秀100～81点、優80～61点、良60～41点、可40～21点、不可20～0点

C.その他、お気づきの点がありましたら、ご記入をお願いいたします。

D.調査の回答方法について当てはまるものをお選びください。
選択肢:　紙媒体での回答を希望、WEBでの回答を希望、紙媒体・WEBどちらでもよい

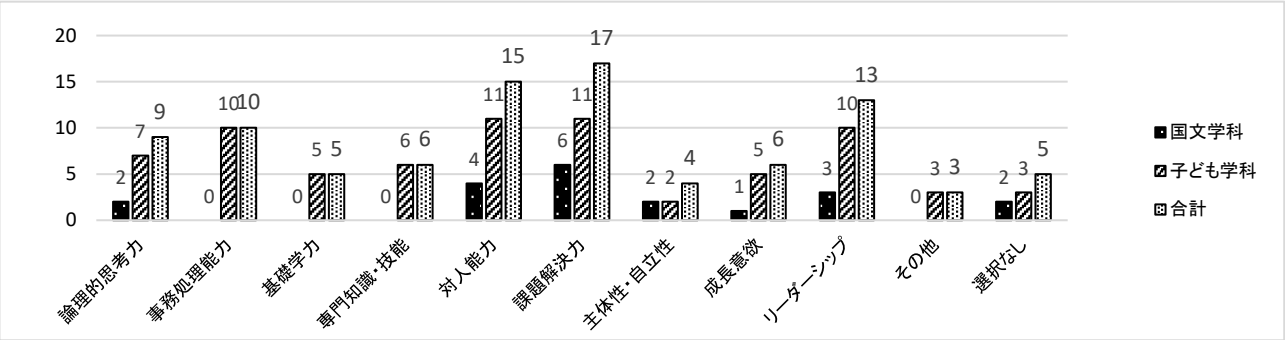
実施後:　・本学ホームページ上で卒業生に関する就業状況調査の集計結果（A・B）を公表
・本学ホームページ上で正規のうち6ヶ月以内の離職状況を公表
・集計結果をふまえ、学内の進路支援および教育内容の改善を検討する

滋賀文教短期大学　就職先アンケート　集計結果　（2019年度卒業生 就業先対象対象）

令和2（2020）年9月25日現在

A.本学卒業生について、特に改善が求められる点を3つまで選び、丸をつけてください。

No.	評価項目	評価項目詳細	国文学科	子ども学科	合計
1	論理的思考力	具体的根拠を基に考えたり議論したりする力	2	7	9
2	事務処理能力	文章作成能力、パソコン技能、電卓計算能力	0	10	10
3	基礎学力	短期大学卒業程度の学力、一般常識	0	5	5
4	専門知識・技能	専門分野についての豊富な知識	0	6	6
5	対人能力	議論の意図を理解する力、意見の異なる人とも協力する力	4	11	15
6	課題解決力	自ら課題を発見し、取り組み、解決する力	6	11	17
7	主体性・自立性	すぐに他人を頼らず、自分でやり遂げる力	2	2	4
8	成長意欲	入職後も自己研鑽しようと地道に努力を継続する力	1	5	6
9	リーダーシップ	他人を巻き込んで、物事に取り組む力	3	10	13
10	その他	自由記述	0	3	3
*	選択なし	改善点がない、評価を控えるなど、選択がなかったケース	2	3	5



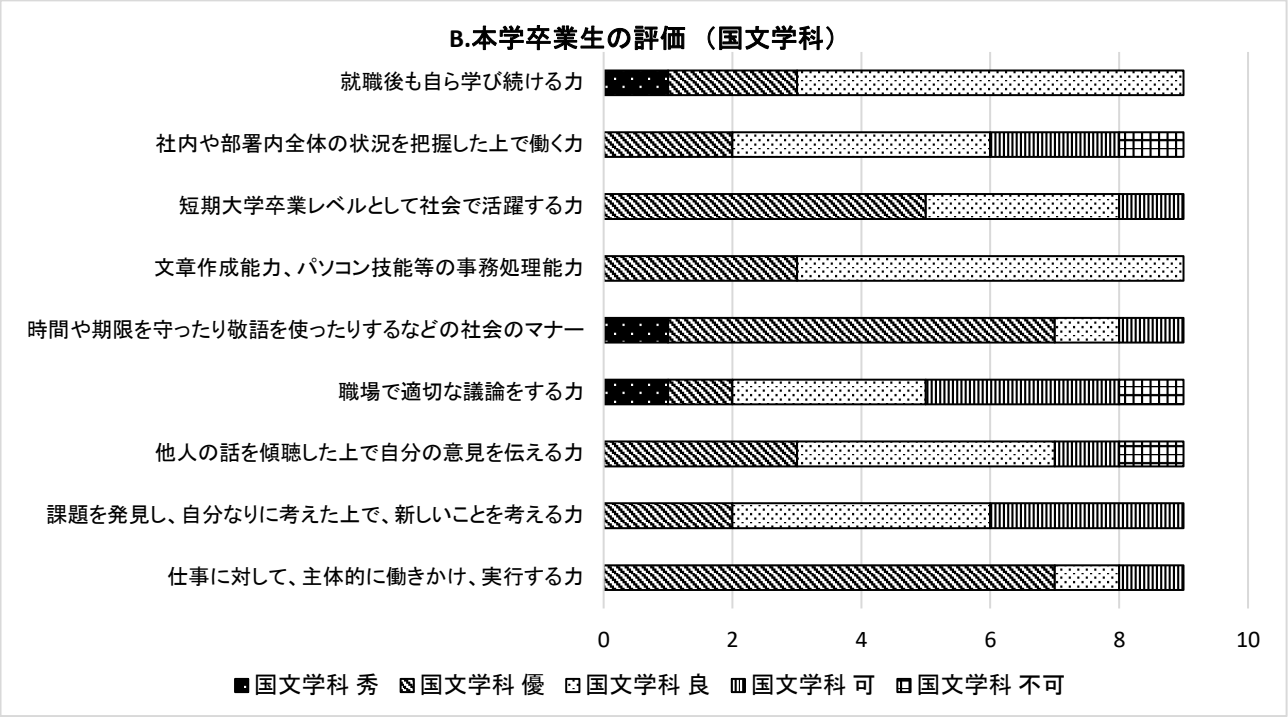
・改善点なしという評価を明記していただけたのは1名。改善点が3つ未満しか選択されていないケースも14名あった。
・「課題解決力」が課題だと挙げられたケースが両学科ともに最も多い。次いで、対人能力、リーダーシップに関する評価が芳しくなかった。子ども学科は事務処理能力も課題として挙げられた。

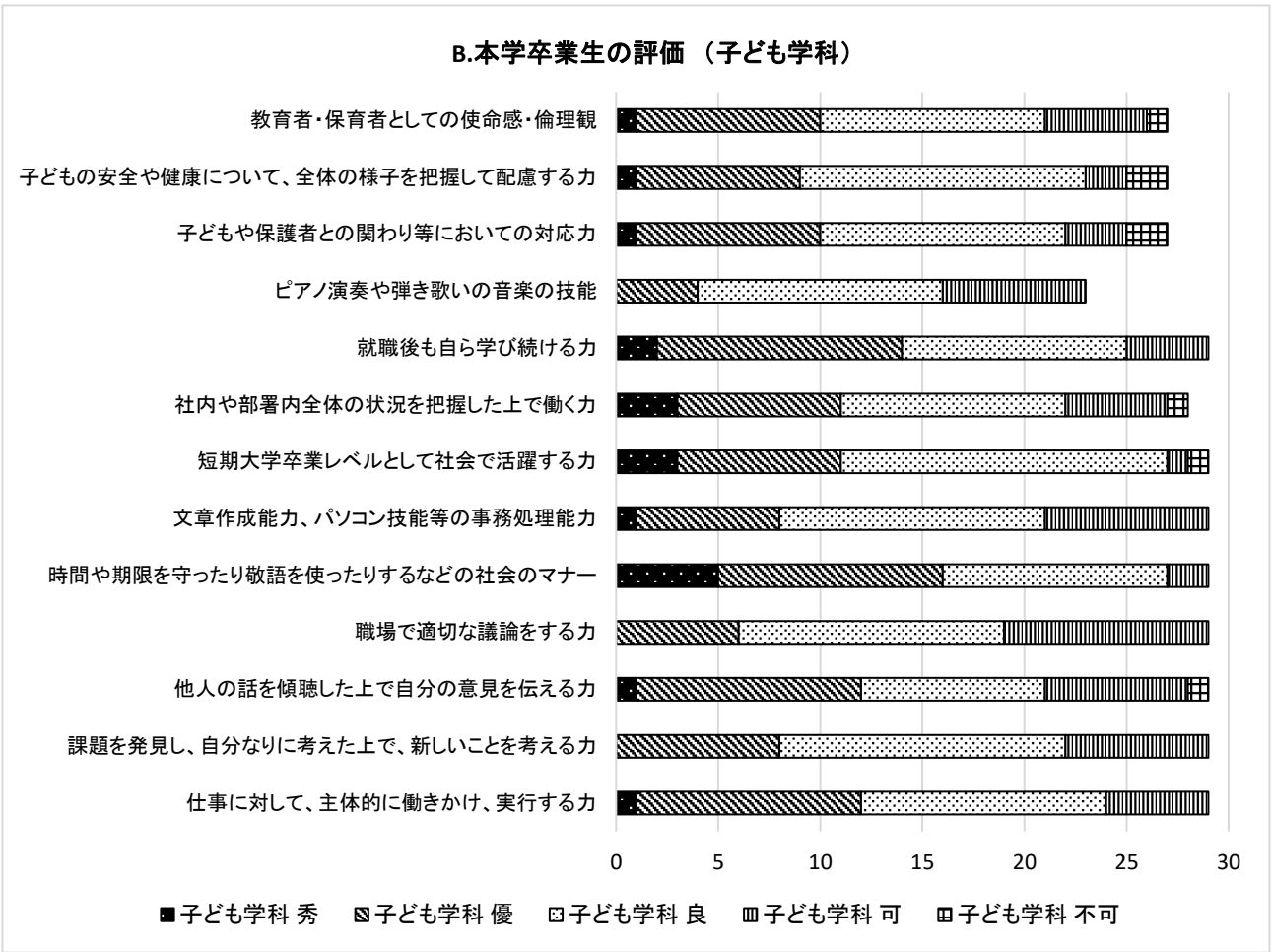
B.本学卒業生の評価について、それぞれ一つを選び、丸をつけてください。

No.	評価項目	国文学科					子ども学科					合計
		秀	優	良	可	不可	秀	優	良	可	不可	回答数
1	仕事に対して、主体的に働きかけ、実行する力	0	7	1	1	0	1	11	12	5	0	38
2	課題を発見し、自分なりに考えた上で、新しいことを考える力	0	2	4	3	0	0	8	14	7	0	38
3	他人の話を傾聴した上で自分の意見を伝える力	0	3	4	1	1	1	11	9	7	1	38
4	職場で適切な議論をする力	1	1	3	3	1	0	6	13	10	0	38
5	時間や期限を守ったり敬語を使ったりするなどの社会のマナー	1	6	1	1	0	5	11	11	2	0	38
6	文章作成能力、パソコン技能等の事務処理能力	0	3	6	0	0	1	7	13	8	0	38
7	短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力	0	5	3	1	0	3	8	16	1	1	38
8	社内や部署内全体の状況を把握した上で働く力	0	2	4	2	1	3	8	11	5	1	37
9	就職後も自ら学び続ける力	1	2	6	0	0	2	12	11	4	0	38
10	ピアノ演奏や弾き歌いの音楽の技能						0	4	12	7	0	23
11	子どもや保護者との関わり等においての対応力						1	9	12	3	2	27
12	子どもの安全や健康について、全体の様子を把握して配慮する力						1	8	14	2	2	27
13	教育者・保育者としての使命感・倫理観						1	9	11	5	1	27
合計		3	31	32	12	3	19	112	159	66	8	

*No.8は1件無回答があったため、No.1～7,9と合計回数が異なる。No.10も4件無回答がありNo.11～13と合計回答数が異なる。

（次ページに続く）





両学科とも高評価だったのは「時間や期限を守ったり敬語を使ったりするなどの社会のマナー」で、この他に国文学科は「仕事に対して主体的に働きかけ実行する力」、子ども学科は「就職後も自ら学び続ける力」が高評価だった。

一方、最も低い評価だったのは両学科ともに「職場で適切な議論をする力」だった。この他に国文学科では「社内や部署内全体の状況を把握した上で働く力」、子ども学科では「課題を発見し自分なりに考えた上で新しいことを考える力」「文章作成能力、パソコン技能などの事務処理能力」の評価が低かった。

以上